

絵本を手話で読むってなんておもしろい!



©キヨノサチコ

DVD

手話で楽しむ絵本



手話はことば（言語）です。聞こえない人（ろう者）どうしのコミュニケーションの手段です。この映像では、早瀬憲太郎さんが日本手話で絵本を読んでいます。

伝えたい気持ちあふれる映像!



聞こえる人も聞こえない人も、手話を知っている人も知らない人も、みんなが手話にすこしでも興味をもち、楽しんでもらえることを願っています。

手話語り手 早瀬憲太郎

生まれつき耳が聞こえない。横浜でろう児、ろう者対象の「早瀬道場」を開く。映画監督、脚本家として「ゆずり葉」「咲む」などの作品がある。自転車競技でデフリンピックに出場、入賞も果たす。元 NHK「みんなの手話」講師。

声で読むバージョン、また手話で読むときには字幕が入ったバージョンも選べます。聞こえる人も聞こえない人も、繰り返しいろいろな楽しみ方ができる DVD です。

内容

人気のロングセラー2作はそのまま読む、また手話をテーマにしたもう1作は、絵本の中ではイラストで表している手話が、早瀬さんの動画で楽しめるというふうがなされています。トータルで53分。



『ノンタンがんばるもん』
キヨノサチコ / 作・絵



声で読む 字幕あり
手話で読む 字幕なし
ブランコからおちて耳をけがしたノンタン。注射をこわがって病院から逃げだしましたが……

『ともだちや』
内田麟太郎・作 降矢なな・絵



声で読む 字幕あり
手話で読む 字幕なし
キツネは1時間 100 円の「ともだちや」をはじめることになりました。ともだちって売れるの？ 買えるの？

『しゅわしゅわ村のおいしいものなーに？』
くせさなえ / 作・絵



声と手話で読む
しゅわしゅわ村では、たくさんの手話が楽しめます。いっしょにやってみましょう。

●図書館館外貸出・館内上映権付

発売 2020年9月・価格 5000円(税別)

「知りたい」と「伝えたい」のころ



©キヨノサチコ

ころころがこもった本を読むと、自分のころころも動きます。それと同じく、手話もまた、ころころからころころへと伝わっていくことばです。意味がわかるかどうか、まるでテストを受けるかのように手話を学ぶのではなく、まず「知りたい」と感じる自分のころころをしっかりとつかもう。そして、目の前にいる人を見つめてみよう。その人も、ころころをもって「伝えたい」と思っているはず。『知りたい』と『伝えたい』のころころがそろそろ、手話の学びが始まります。これは、実は幼い子どもがごく自然に行っていることでもあります。二人の間こえる子どもを手話で育てているほく自身の経験からも、ろう者や聴者とは関係なく、子どもと日本手話の相性には測りしれないものがあるぞと感じています。早瀬憲太郎さんによる変幻自在の手話語り、手話の学びだけではなく、子どもたちに秘められた、ころころからの可能性を、やさしく、おもしろく広げてくれることでしょう。

藤原陽道 (写真家) 著書『異なり記念日』『声めぐり』『感動、』など

手話の魅力があふれる、「動く絵本」!

聞こえない人も聞こえる人も。手話ができる人もできない人も。子どもはもちろん、大人も楽しめると思います。手話学習中の私ですが、『ノントンがんばるもん』は先に朗読を聞いて、「どんな手話になるかな」と自分で手や顔を動かしてみたあとで手話篇を見て、「ああ、こう表現するのか!」とその豊かな表現力に感銘を受け、「ともだちや」の方は、先に手話篇を(実は間違えて笑)見てしまったのですが、ほとんど内容がわかって嬉しくなりました(もちろん絵があるからですね)。『しゅわしゅわ村のおいしいものな-に?』は、絵を見てどんな手話になるのか、みんなで当てっこをしたら楽しそう! やっぱり手話は、「目で見る言葉」なのだなあ、と改めて思いました。このDVDを見て、大人も子どもも一緒に楽しんでるようすが目に浮かびます。

丸山正樹 (小説家) 著書『ブフ・ヴァイス』『龍の耳を君に』『黒うし子』など

応援メッセージ

手話って楽しいものなんだなあ!

生まれつき耳が聞こえなかった甥っ子。赤ちゃんの頃、小さな手で、ほっぺをポンポンとたたき、「おいしい」という手話をする姿が可愛くて、みんなで何度もおいしいの手話をしていた事を思い出します。手話は手やからだ、表情を使うからか、その時の思い出が、映像として鮮明に、とてもあたたかい記憶として残るように思います。絵本をイベントなどで読ませて頂くと、手話を知らないお客さんたちが、最初は恥ずかしそうにしながらも、手を動かすうちにだんだん楽しくなっていくように、手話って楽しいものなんだなあ……と感じます。このDVDを見た時、手話で表現される物語の世界がおもしろくて新鮮で引きこまれました。これは聞こえる人も聞こえない人も、手話にあまり興味がない人でも一緒に楽しめそう! と思いました。

「せさなえ (絵本作家) 『しゅわしゅわ村の おいしいものな-に?』 著



©くせさなえ

DVDを見てると、伝えたい思いがあふれ、体全体の表情になっています。まるで思いがあふれたとき、ひとがひとを思わずだきしめるように。美しいなあ。絵本には絵本の思いがあります。その思いを手話ということばが、子どもたちに伝えてくれます。子どもたちの思いも、手話で返ってきます。笑顔ということばになって、手話がみんなに広がるとき、笑顔も広がるのでしょう。—ブックレット原稿より抜粋

内田麟太郎 (詩人・絵詞作家) 『ともだちや』 著

「手」に触れるということは、コミュニケーションの相手を視界の中にとらえて、相手の伝えたいことを自分の心で受けとめることです。この「手話で楽しむ絵本」に出会うことにより、子どもたちは表情豊かに伝え合うことの意味を自然に学び、そしてそれは、これからの国際化時代に世界中の人たちとのコミュニケーションを可能にするきっかけになると思います。—ブックレット原稿より抜粋

子どものコミュニケーション



©降矢なな

偕成社

<https://www.kaiseisha.co.jp>

〒162-8450 新宿区市谷砂土原町 3-5 TEL.03-3260-3221 FAX.03-3260-3222

偕成社・注文書

出版社コード 0904

DVD 手話で楽しむ絵本

ISBN978-4-03-098150-8

●定価 [本体価格5,000円+税]

学校名・お客様名

注文数

取次・書店印

本

様

ご注文はお出りの書店様へお願いいたします。